

京都産業大学 ことばの科学研究センター 2023年度第1回研究会

日時：2023年5月24日（水）14:00～16:00

場所：第2研究室棟会議室

（本年度は対面での参加が原則となります）

無文字社会のテキスト

梶 茂樹

ことばの科学研究センター 研究センター員
現代社会学部 元客員教授

世界にもし7000の言語があるとしたら、恐らくその9割は無文字言語であろうと思われる。無文字社会にも文学はあり、テキストはある。書かれないだけである。発表者はアフリカで言語調査をしながら、たんに語彙や文法だけでなくテキストにも興味を寄せ、様々な口承文学を文字化してきた。民話、伝承、歌、諺、謎々、人名、地名、太鼓メッセージ、タブー表現などである。言語学者は、テキストの言語表現にまず注目するが、それが表す内容も興味深いものである。

本発表では無文字社会のテキストの特徴を取り上げ、ウガンダ西部のニョロ語社会のタブー表現を中心に、その論理とそれが果たす社会的役割について考察する。